

# 理工学図書館のご紹介



こうちゃん

大阪大学理工学図書館についてご紹介します！



## ■大阪大学附属図書館について

- 大阪大学には、豊中、吹田、箕面の3つのキャンパスがあり、4つの図書館があります。  
総合図書館（豊中キャンパス）、生命科学図書館（吹田キャンパス）  
理工学図書館（吹田キャンパス）、外国学図書館（箕面キャンパス）
- 工学部の1年生は主に豊中キャンパスで授業を受けるため、総合図書館を利用しています。2年生からは吹田キャンパスの理工学図書館を利用します。
- 附属図書館全体で、約365万冊の図書と約72,700タイトルの雑誌を所蔵しています。（2026.3月現在）
- 約38,000タイトルの電子ジャーナル、約42,000タイトルの電子ブックも利用可能です。場所や時間を問わず、必要な情報にアクセスできます。

## ■理工学図書館について

- 理工学図書館の主な利用者は、工学部2年生以上の学部学生、工学研究科の大学院生、教職員です。
- 所蔵資料は工学分野のものがほとんどです。図書は約26万冊、雑誌は約7,300タイトルあります。
- 資料の閲覧・貸出だけでなく、みんなで議論できるスペースもあります。

## ■顔認証による入館・貸出

- 学部生・大学院生は、顔認証やデジタル学生証（スマホアプリ「マイハンダイ」上で表示）で図書館に入館できます。
- 館内の自動貸出装置も、顔認証やデジタル学生証に対応しています。

館内ツアーと理工学図書館の  
使い方の動画はこちらから♪



おたまちゃん

## ■ラーニング・サポーター（LS）による学習相談

- 学部生の学習サポートをする大学院生が、ラーニング・サポートデスクで活動しています。
- 学習相談や講習会、学習のみちしるべとなるパスファインダーの作成など、様々な活動を行っています。

図書館でできるのは資料を読む・借りるだけではありません！



りっちゃん

# ■理工学図書館の施設案内

通常の座席に加えて、次のような施設があります

- ラーニング・commons：相談しながら学習できる、主体的な学びのためのスペースです。プレゼンテーションに便利な機器も多数取り揃えているため、授業やゼミにも活用されています。

## ◆東館1階 Sky Innovation Studio

自習エリア、グループ学習エリア、プレゼンテーションエリアがあります。



## ◆西館1階 TPSCo Commons

グループ学習エリアと阪大生が自由に使えるパソコンエリアがあります。



- そのほかにも便利な施設があります。

## ◆西館2階 グループ学習室・会議室/研修室

3名以上で利用できるグループ学習やディスカッション用の部屋です。6名以上で利用できる会議室/研修室は、ゼミにも利用されています。



## ◆西館1階 スピーキングブース

1名用の個室で、オンライン授業など、発話を伴う学習・研究に利用出来ます。



## ◆東館3階 研究個室

1名用の個室です。静かに勉強したい時に利用できます。



## ◆西館3階 図書館ホール

講義やセミナー等の活動に利用できます。100名収容できます。

